

平成 22 年度
総 会



本年度の大府コミュニティ推進協議会の総会が4月18日（日）午後7時から、大府公民館大会議室で、ほぼ満席の下に、盛大に開催されました。

議案審議については、井村芳昭氏が議長に選出され、前年度の事業報告、歳入、歳出の決算、本年度の役員、事業計画、歳入、歳出予算が承認されました。

会長には 深谷貢、副会長には加古

卓、加藤正一、事務局長には山本正清、各部会長として、「家庭教育部会」深谷豊、「環境部会」桜井義道、「健康部会」鈴木善広、「文化福祉部会」見神万智子、企画委員長としては、「夏まつり」加藤久雄、「運動会」鷹羽孝男の諸氏が選出されました。

前年度は新型インフルエンザの流行により、残念ながら、運動会が中止となりましたが、本年度は例年通り行う予定です。主な行事の予定日は本ページの下段に記載した通りです。

会長は挨拶の中で、「現代社会は核家族化、高齢化、孤独化が進んでいます。コミュニティの活動は、人と人とのふれあいと交流する場を提供することにより、地域住民の絆を強化し、住みよい大府地域社会を作ることです。本年度も多くの行事を計画しています。会員のみなさまの温かいご支援と積極的なご参加、ご協力をお願い致します。」と述べておられました。

大府コミュニティだより

ふ
れ
あ
い

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
事務局
大府公民館
TEL48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

グラウンドゴルフ
《健康部会》

背筋を伸ばしませんか

健康部会では年3回のグラウンドゴルフを開催しています（6月、9月、12月）。希望者は開催日の8時30分には横根グラウンドにお越し下さい。

緑化運動

《環境部会》

駅周辺に花が咲きました

郵便局交差点角の花の植え替えをしました。参加者は小学生とその父母、中学生、コミュニティのメンバー等総勢約60名が参加して花を植えました。特に、普段土に触れることの少ない小さい子供たちは土いじりを夢中で楽しんでいました。

次回は9月5日(日)の予定です。



平成22年度年間行事

4・18 ● 平成22年度 総会

5・30 ● ごみゼロ運動

6・19 ● グラウンドゴルフ大会

(雨天中止)

$$\begin{array}{r} 8 \quad 7 \\ \cdot \quad \cdot \\ 1 \quad 31 \end{array}$$

夏まつり



9・5 ● 大府中学校長講演会

9 ● グラウンドゴルフ大会

● クリーン・アップ・

ワールド・イン・大府

$$\frac{10}{2}$$

公民館まつり


$$\frac{11}{7}$$

コミュニティ運動会


$$\begin{array}{r} 2 \ 12 \\ \cdot \\ 13 \end{array}$$

グラウンドゴルフ大会
芸能祭

第29回 大府夏まつり



日時：7月31日(土)、8月1日(日)

時間：午後5時30分より

場所：大府駅前ロータリー周辺

プログラム(予定) ※去年のタイムスケジュールにより

7月31日(土)

PM5:20 大府小学校金管バンド
PM5:40 桃陵高校(チアーズ)
PM6:50 盆踊り
PM8:00 大府太鼓一会



8月1日(日)

PM5:30 至学館大学ヒップホップダンス
PM6:00 第1回ヨサコイソーラン踊り
PM6:50 大府ばやし小唄保存会による踊り
PM7:30 子供会七夕飾り表彰式
PM7:45 第2回ヨサコイソーラン踊り
PM8:05 盆踊り

☆9時過ぎには終了予定です!

☆小さいお子様の手は離さないようにしましょう!

☆あなたのサイフは狙われています!

ロータリー周辺図



UFJ

第1回ヨサコイソーラン踊り

 資源ステーション

ボランティアのみなさまによるゴミの
分別をしています。

ご協力をお願いします。

コンビニ



アズイン大府

- ・大府小学校金管バンド
- ・桃陵高校(チアーズ)
- ・至学館
- ・第2回ヨサコイソーラン踊り

ステージ

本部

子供会七夕飾り展示

大府駅



資源もゴミのうち！はじめからなければ、分けたり捨てたりする必要もありません。私たちも真剣に考えたいものです。

平成19年度より市内の小学校4年生の児童に対して、ゴミの分別・減量についての出張授業を行っています。

生徒は、各家庭から持ち寄ったゴミの分別の仕方や、ゴミが資源としてどのようにリサイクルされているかを学びます。また、授業の後半では「チャレンジ ごみ減量クイズ」を通してゴミを減らすために自分たちに何ができるのか？ということを考えます。

環境課の取り組み



「リサイクル」ということが登場してから約20年。地域でも資源回収を通じてリサイクルは身近なものになっています。しかし、大府市のリサイクル率は他の市町村に比べて決して高いとは言えません。そんな中、次代を担う子どもたちに限りある資源の大切さを知ってもらおうと、市の環境課では

知っていますか？

ダンボールリサイクル表示を見たことがありますか？
この表示は、ダンボールリサイクル協議会の自主的なもので、表示義務はありません。
ですが最近では、よく見かけるようになってきています。



探してみてくださいね！

チャレンジ☆クイズ

問1 家庭から出るごみの量、
一人一日何グラム？

- ①約 350 g
- ②約 700 g
- ③約 1050 g

350gはおおよそ、
缶ジュース
1個分だよ。



問2 トイレットペーパー1巻(65m)を作るのに、
1リットルの牛乳パックが何枚いる？

- ①1枚
- ②6枚
- ③10枚



問3 使い切ったスプレー缶や
家庭用カセット式ガスボンベは
穴をあけた後、何ゴミで出す？

- ①資源 (スチール)
- ②燃えないゴミ
- ③燃えるゴミ

収集車が燃えて
しまうので、
ガスは
きちんと
ぬこう！



答えは4ページの右下にあります



530 運動 「みんなで作ろう明るい街作り」

ゴミゼロの朝、広報車が巡回をして市民の参加を呼びかけました。

自宅周辺の道路や川沿いの道に、空き地に投げ捨てられた空き缶・空き瓶、燃えるゴミなどいっぱい拾い集めて、分別して……、たくさんの人たちが運動に協力しました。

「落ちてたよ」と袋の中の踏みつぶされた玉葱を見せてくれた男の子、恥ずかしそうにごみ袋を差し出す女の子、みんなおはようございますと朝の挨拶を交わしながらゴミを拾い集めた時の様子を話していました。

530 運動は、道路や公園など市中に散乱するゴミを見て、豊橋山岳会長夏目久男氏が提唱され、「自分のゴミは自分で持ち帰りましょう」を合い言葉に、豊橋市から始まったそうです。

各自が自覚を持ち身近な所から美化に心掛け、「ゴミを持ち帰ろう」精神を養いたいものです。

あの人この人

大府小学校長 宮島 年夫先生

今回は、今年度より新しく大府小学校長に赴任された宮島年夫先生に寄稿していただきました。

プロフィール



昭和29年午年生まれの56歳。
大府小学校、大府中学校は私の母校で、卒業後も時おり校歌を口ずさむほど郷愁を抱いてきました。母校に赴任できたことは、大きな喜びです。

これまで七つの小中学校で勤務し、中学では社会科を教えてきました。子どもの頃から運動が大好きで、とくに水泳、野球、ソフトボールには熱心に取り組んだ時期があります。劇づくりも面白くて、小学校の担任だった頃は、学芸会やクラブ活動で台本づくりや演技指導に熱中していました。その関係もあって朗読が楽しく、クラスでの「読み聞かせ」が毎朝の日課となっていました。

大府小学校の印象

学校の南側道路から見上げる外観とは違って、敷地内から見渡す景観は、緑に囲まれ落ち着いたたたずまいです。ゆったりと空気が流れる良好な教育環境だと感じています。

児童数が約一四〇〇人、県下最大

のマンモス小学校ということで、全員が集まる場での子どもたちの騒々しい姿を想像していました。ところが、初めての全校朝会で、子どもたちが整然と並んで、静かに話を聞いている姿を目のあたりにして、とても感心しました。当然と言えば当然のことですが……。

また、一学年二三〇名前後の子どもたちがいますが、春の運動会では、学年もチームも良くまとまり、はつらつと活躍する姿を見ることができました。子どもたちから、私たち大人がたっぷり元気もらいました。

子どもたちへの期待

大きく二つあります。

一つは、本校の生徒指導の柱となっている「あいさつ・返事・はきものそろえ」を実行できる子であってほしいという期待です。「はい」という返事は、とても大事です。大人も子どもも同様に、「はい」と返事をするだけで、自然と素直な自分になれるように思います。

もう一つは、これからの自分自身に夢と希望をもてる子であってほしいという期待です。自分のやりたい事をやって、それで生活ができて、そのことがささやかでいいから人の役に立つ……できれば、そんな生き方がいいですね。

新設小学校について

大府市で九校目、知多管内で八〇校目の小学校が平成24年4月1日に開校します。現在、最良の教育環境が整った小学校にしようと、職員が

これまでの経験を生かして基本設計図に何度も修正をかけています。

新設小学校に約五五〇名、本校に約八五〇名の子どもたちが通学できるようにしたいと考えています。この先、新設小学校と本校が切磋琢磨し合い、本校の教育活動も一層飛躍する機会にしたいと願っています。

これからの大府小学校

学校教育の役割は、子どもたちに学力と社会性を身につけさせ、一人前の大人になるための基礎を培うことだと考えます。それには、学校が地域の方々に支えていただきながら、私たち職員と保護者の方々が日常の関わりを通して、しっかりと繋がっていくことが大事です。私たちは、これからも皆さんに親しまれ、信頼される学校を求め続けていきます。

学校の骨格として、いつも三つの姿を描いています。

・子どもたちが行きたくなる学校
・保護者や地域の方々が誇りに思い、子どもたちを通わせたい学校
・職員がいつも朗らかで、やりがいをもてる学校

「一人を粗末にするとき、教育はその光を失う」という言葉があります。マンモス校であろうと小規模校であろうと、一人の人間を育てるといふ思いに軽重はありません。この言葉を戒めとしながら、子どもたち一人一人が輝きを放つような教育活動を創造していきたいと思っています。

あとがき



今年も「夏まつり」のシーズンとなった。今年も孫が「金魚すくい」で貰った（自分ですくえないので）金魚をビニール袋に入れて得意げに持って帰るだろう。翌日からジツチャマの苦労が始まる。水槽は4リットルのペットボトルを中程で切断（これを2個作成）。最初は水道水のカルキを抜くため、一つのペットボトルを満杯にして半日放置。カルキが抜けた頃をみはからって「お金魚様」のお引越し。次いでドラッグストアで買ってきたご馳走を食べて戴く。食べれば当然何かが出る。ホームセンターで買ったきたビニールホースで吸出し。これは毎日「お金魚様」が昇天されるまで続くのである。「夏まつり」よコナイデーッ！

チャレンジ☆クイズの答え

- 問1 ② 約700g (350mlのジュース2本分くらい)
 【解説】平成21年度1年間に出生された家庭ごみは22,780トン、うち資源が6,172トン。1人1日あたりに直すと731gになります。
- 問2 ② 6枚
 【解説】紙は種類ごとに溶かして再びリサイクルされます。紙パックは上質なりサイクル素材として、ティッシュやトイレトペーパーになります。
- 問3 ① 資源 (スチール)
 【解説】残ったガスを抜けば資源としてリサイクルできます。